

議案審議

単行議案

■工事請負契約の締結について
 (仮称)夢と学びの科学体験館として整備される、中央児童館のプラネタリウム機器を更新します。

指定管理者の指定について
 刈谷市つくし作業所の指定管理者を指定します。

指定の期間
 平成26年4月1日から平成30年3月31日まで

指定管理者の指定について
 より、経費が削減されるのか。

指定管理者の指定について
 専門職を雇用している法人を必要になると考えられるが、

指定管理者の指定について
 より、質の高いサービスの提供と柔軟な運営が期待できる。

指定管理者の指定について
 6メートル布設できる見込みで、休日や仕上げの期間なども考慮すると、6か月程度要すると考えている。

指定管理者の指定について
 また、事前準備や撤去作業さらには、湯水期でなければ施工できないものもあり、あわせて16か月の工期を確保している。

指定管理者の指定について
 補正する額(一般会計) 3億2,800万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

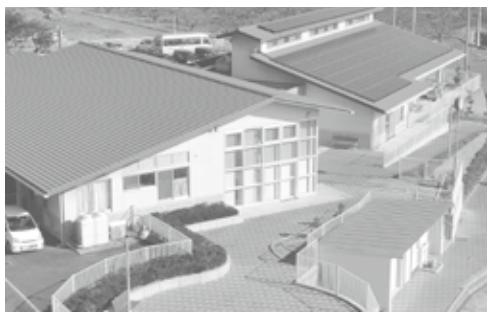
指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(一般会計) 5億4,700万円

指定管理者の指定について
 補正後の予算総額(全会計) 7億8,100万円



光学式デジタル映像システムを備えたハイブリッド方式のプラネタリウム



井ヶ谷町にあるつくし作業所

補正予算議案

補正予算議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

9月24日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、25日の本会議において原案のとおり可決しました。



整備される今川町交差点周辺

交通安全

自転車利用者の利便性向上と違法駐輪をなくすことにより交通安全、環境美化を図るため、富士松駅南口と一ツ木駅南口に合わせて274台分の駐輪場を整備します。

2,741万円

道路利用者の交通安全確保を目的に、下重原町の重原横断歩道橋を架け替えるため、横断歩道橋の設計業務を委託します。

9月定例会提出議案の賛否について

9月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名及び議決結果	市民クラブ										公明クラブ		清風クラブ		日共議員団		新議員団		議長		副議長								
	加藤 峯昭	山崎 高晴	岡本 優	前田 秀文	加藤 賢次	渡辺 周二	鈴木 絹男	佐野 泰基	中嶋 祥元	伊藤 幸弘	黒川 智明	佐原 充恭	鈴木 浩二	山内 智彦	沖野 温志	松永 寿	白土 美恵子	樫谷 勝	野村 健治	新村 武文	山本 シモ子	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	蜂須賀 信明	成田 正和	清水 行男	神谷 昌宏	
指定管理者の指定について(刈谷市つくし作業所)	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
決算関係5議案※1(認定第1号、第5号、第6号、第7号、第8号)	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成25年度一般会計補正予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

※1 議案名については3ページ「議決結果一覧表」をご参照ください ※2 中嶋祥元議員は監査委員のため決算議案の採決に加わりません

委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

企画総務委員会

◆所管事務調査
 「刈谷市ホームページについて」「特別警報について」「庁舎内における暴漢等への対策について」「PPSの導入について」「犯罪の発生状況について」「マイナンバー制度について」など

福祉経済委員会

◆所管事務調査
 「ごみ収集作業について」「露天の爆発火災について」「青年就農給付金制度について」「小規模企業者設備投資促進補助事業について」など

建設水道委員会

◆所管事務調査
 「公園の砂場等の衛生管理について」「公園の樹木の管理について」「8月6日の記録的大雨における被害等について」「東陽町名店街ビルの解体について」「市道01-40号線他道路新設改良事業について」など

文教委員会

◆所管事務調査
 「公民館連絡協議会について」「給食の残食について」「第2次刈谷市スポーツマスタープランについて」「刈谷球場の売店について」「いじめ防止対策推進法について」「森三郎顕彰事業について」「心の教育について」など

行政視察

優れた事業を行う自治体を視察し、魅力ある刈谷市づくりに生かします。

企画総務委員会

◆東日本大震災における被害状況と現状
 宮城県石巻市「震災での経験を教訓とした防災の取り組み」
 宮城県栗原市「シティセールズ」
 福島県郡山市「環境ミュージアム、エコハウス」

福祉経済委員会

◆南高愛隣会コロニー雲仙
 福岡県北九州市「環境ミュージアム、エコハウス」
 鹿児島県鹿児島市「ここに子育て応援隊」

建設水道委員会

◆インフラマネジメント計画
 東京都府中市「水道事業における包括業務委託」
 群馬県太田市「まちづくり三鷹による地域活性化」
 東京都三鷹市「まちづくり三鷹による地域活性化」

文教委員会

◆中小学校における熱中症対策
 埼玉県熊谷市「中小学校における熱中症対策」
 栃木県宇都宮市「小中学校施設向上推進計画」
 茨城県水戸市「スポーツ施設の改修整備」

議会運営委員会

◆議会の災害対応
 埼玉県越谷市「議会の災害対応」
 埼玉県所沢市「議会基本条例の運用」
 千葉県市原市「議会基本条例の運用」

次回発行の2月1日号に視察報告を掲載します

公平委員会委員の選任について

平成25年9月30日以前に任期満了となるので、次の方を選任することに同意しました。

杉浦 渉氏 刈谷市小垣江町

石川 浩二氏

刈谷市小垣江町

目下 ゆかり氏

刈谷市元町

公平委員会とは・・・(任期4年)
 地方公共団体の利益の保護と公正な人権の行使を保障するために置かれる機関です。

固定資産評価審査委員会とは・・・(任期3年)
 固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服申し立てについて、審査決定をする機関です。

教育委員会とは・・・(任期4年)
 学校の設置及び管理に関することや、教員の人事についてなど、教育行政を処理するために置かれる機関です。

本人が出席しない場合の結婚祝

お祭りへの寄付や差入

病見舞

お盆(新盆)

葬式の花輪、供花

本人が出席しない場合の葬式の香典

町内会の集いや旅行などへの寄付や差入

お中元 お歳暮

入学祝 卒業祝

公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同

刈谷市議会 平成25年9月25日

定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、取りこぼしをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子どもも多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。本年度、いじめ問題への対応など、教育課題にも直面している。定数改善がされたものの、少人数学級のさらなる推進のための定数改善計画が見送られたことにより、教職員定数増も見送られることとなった。少人数学級を行うこと、一人ひとりの子どもにきめ細かな対応ができるという多くの声が開かれるなか、子どもたちにもこれまでも増してきめ細かに対応するためには、今後、少人数学級のさらなる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであることに加え、本年度、子どもが自然減に準じた措置以上に義務教育費国庫負担金の削減も受け、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ還元することは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

よって国においては、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

刈谷市議会